

令和6年度

保谷第一小学校 5年生

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールの充実

西東京ふるさと探究学習

単元名：（活動名） おいしさ発見！ふるさとグルメ応援プロジェクト

ねらい： 地域で生産されている地場食材のよさや特徴について調べたり、それらに携わる地域の方々と関わったりする活動を通して、地域の食文化を大切にしようとする態度を育てるとともに、地産地消の促進や地域の食産業の発展のために自分にできることを考え、発信することができるようにする。



【5月10日】

毎年お世話になっている臼井さんがいらして、「お米の学校」開校です。

健康な種を選び、種まきを行いました。大切にカップに入れていく子どもたち。この日から、ベランダで育てて、苗が少しずつ伸びていきました。



【5月31日】

この日は、田作りと田植えです。育ってきた苗をバケツの田んぼに植え替えました。

なかなか泥に触る機会がない子も多いようで、ワイワイと協力しながら、バケツ田んぼを完成させました。



【6月6日、7月8日】

保一小の栄養士、横張先生へのインタビューから、給食のお米は学校近くの「平松米穀店」から取り寄せているということが分かりました。そこで、平松さんにもインタビューし、販売するだけでなく、地域のためにお米を提供していることを知りました。こだわりのお米を、より広めるための活動を考えていきます。

【7月12日】

ここまでのお米の生育を確認しました。稲の健康診断です。夏休みも、水やり当番に来て、お米の成長を見守る予定です。秋の収穫が楽しみです。



まとめ コラム

社会の学習でも食糧生産について学び、日本各地で農家の人たちが、努力や工夫を重ねていることを知りました。自分たちで実際にお米を育てる経験をすることで、その理解がより深まっているように感じます。2学期からは、おいしいお米を広めるための活動を予定しています。